



「TSUBASA FinTech共通基盤」による APIおよびフィンテックサービスの提供開始について

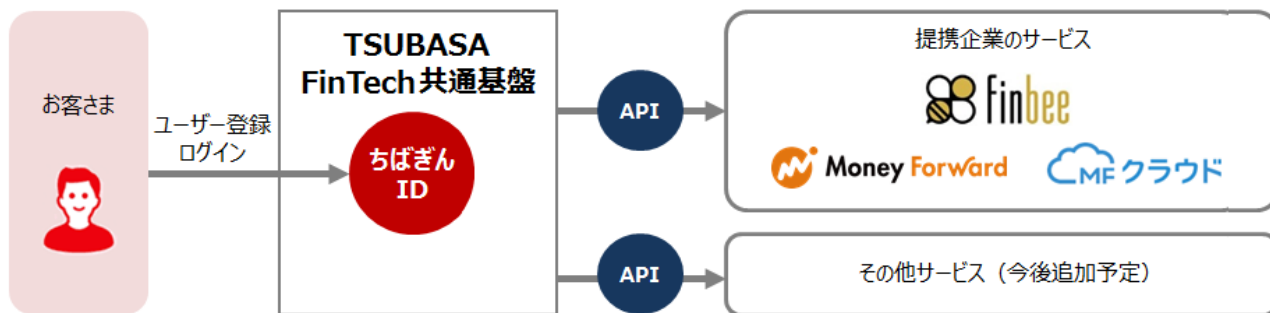
千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年4月23日（月）より、「TSUBASA FinTech共通基盤」によるAPI^{※1}およびフィンテックサービスの提供を開始します。

「TSUBASA FinTech共通基盤」は、「TSUBASAアライアンス」^{※2}参加行とT&Iイノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄）が共同で構築した、フィンテック企業等の外部事業者が同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームとなっています。

この共通基盤をつうじ、お客さまに提供するフィンテックサービスの第一弾は、株式会社ネストエッグ（代表取締役社長 田村 栄仁）の自動貯金アプリ「finbee（フィンビー）」および株式会社マネーフォワード（代表取締役社長CEO 辻 庸介）の自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」・ビジネス向けクラウドサービス「MFクラウドシリーズ」です。なお、自動貯金アプリ「finbee（フィンビー）」とのAPI接続は地方銀行初となります。

API接続にあたっては、事前にご登録いただく「ちばぎんID^{※3}」によりお客さまの認証を行います。インターネットバンキング契約のないお客さまでも、口座情報を各種サービスと安全かつシームレスに連携することができるため、今後はより多くのお客さまにさまざまなフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

＜TSUBASA FinTech共通基盤をつうじたフィンテックサービスご利用のイメージ＞



※1 APIとは、Application Programming Interfaceの略。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

※2 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

※3 インターネットで提供されるサービスを共通のIDでご利用いただくための仕組みです。

以上

自動貯金アプリ「finbee (フィンビー)」

「finbee (フィンビー)」は、おつりや歩数などのルールに連動して楽しみながら貯蓄ができるアプリです。お客さまがアプリ上で目標とルールを設定すると、API接続により当行にお客さまのfinbee専用口座(目的別預金)をオンラインで開設し、普通預金口座から自動で振替えることができます。

ご利用イメージ



finbeeのアプリの口座連携画面で
千葉銀行を選びます

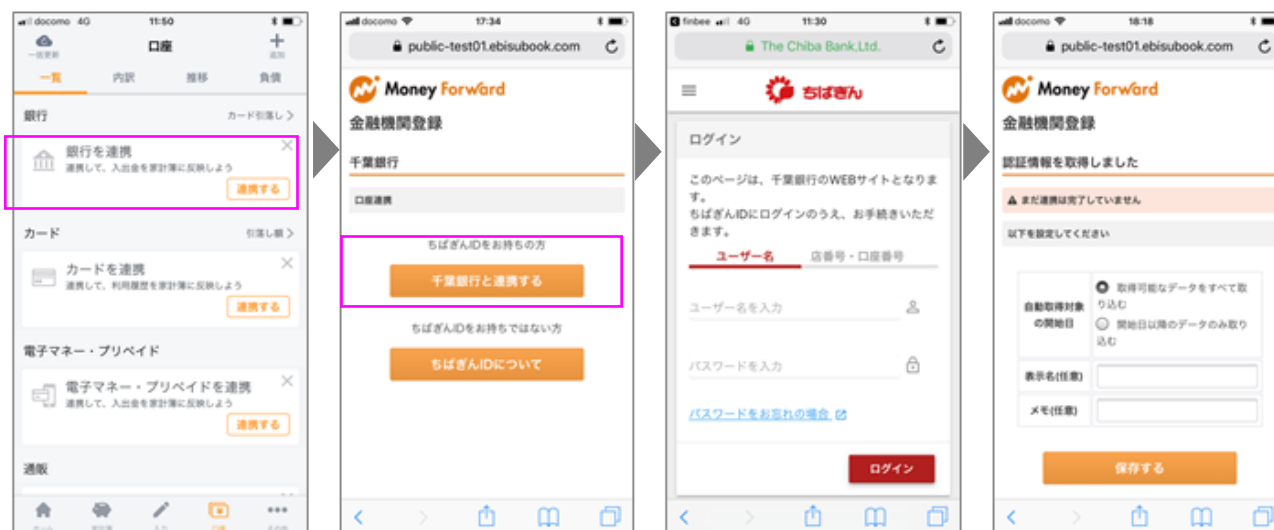
ちばぎんIDにログインし
口座情報連携に同意します

連携完了です
目的などを設定します

自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」

「マネーフォワード」は、銀行口座やクレジットカードを連携すると、家計簿の自動作成や複数口座をまとめた資産管理ができるサービスです。API接続することにより、当行口座情報を安全かつシームレスに「マネーフォワード」へ連携することができます。

ご利用イメージ



マネーフォワードのアプリの画面上で
銀行との連携画面に進み、千葉銀行を選びます

ちばぎんIDにログインし
口座情報連携に同意します

保存すると連携完了です